

ニュースレター★人間健康 Vol.6 No.4

人間健康科学科では学科内の活動等を紹介するニュースレターを発行しています。

夏休みを利用して世界にはばたく！

大学の魅力の一つは長期休暇です。自分でその過ごし方を企画して、実行して、視野を広げて成長する。今回は大学が提供する海外研修、自ら企画した海外での体験談を紹介します。

2回生 Tさん 海外ボランティア研修(カンボジアでの教育体験)参加体験レポート

この研修を一言で表わすとしたら、私は「笑顔」という言葉を選びます。カンボジアの人たちの笑顔は本当に素敵でキラキラしていました。私のイメージでは、笑顔の裏には辛い過去があり、心から笑えない人が多く、子供達もあまり笑わないのではないかと考えていました。なので、向こうの人たちの笑顔を見たときは本当に驚きました。私達が勝手に日本と同じ感覚でカンボジアを見ようとするから可哀想などと思うだけで、しっかりと向き合えば印象は一気に変わります。

また、カンボジアの人は国を愛し、家族を本当に一番大切にしています。国を愛するというのは、正直日本ではあまり考えられません。日本のように技術が発達して何不自由なく暮らしていくことができても、平気で大切な人を殺すような悲しい事件が多い国とどちらが幸せなのか考えると、比べるようなことではないですが、少なくとも毎日を生懸命生きて家族を何より大切にしようとするカンボジアの人たちは素敵だし、そんなカンボジアが羨ましいです。

胸を張って日本という国を愛していると言える人が何人いるでしょうか。日本にも誇りに思えるものはたくさんありますが、わけのわからない事件や家族を殺すというような悲しい事件が起きている国を心から大好きな国だとは言えません。それを変えていくには、一人一人の意識次第だと思います。本当に大切なものは何なのか、どれだけ相手の事を思って行動できるかどうかだと思います。カンボジアに行って本当に大切なことを学ばせていただきました。そのことをいつまでも忘れず、この気持ちを大切にしていこうと思います。



2回生 Sさん ハワイコーヒー農園でのコーヒー生産体験レポート



ハワイ島での1ヶ月間、一番何を知ることができたか、それは自分自身のことだと私は思う。私はハワイ島のコーヒー農園に、コーヒー生産体験のため、1ヶ月滞在していた。ここでの生活は都会に住む私にとってはとても不便であった。町に行くのにも車で1時間かかる、ましてコンビニなど周りにはない。そんな生活の中、1週間に2回休みが貰えては町に行くことがあるが、そこで自分自身のことを知ることになる。私は一人で何事でもできると日本で感じていたし、一人で生活できると思っていた。だが、町での行動はすべて一人。さらに携帯も通じない、言葉も通じない世界だ。本当に寂しく感じた。だが、ハワイの人々はとても親切なことに感動した。見ず知らずの人間にためらいもなく話しかけてくれるし、助けてもくれる。挨拶も笑顔や声も気軽にかけてくれる。そんな日々がとても楽しかった。

私は、ここで人が好きなのだと思えた。この自分を知るという体験は日本では味わえないと私は感じた。



★キャンパス探訪★ 国際交流センター

守口キャンパス6号館1Fにあります。海外研修などのお問合せは国際交流センターまで。大阪国際大学が提供している長期派遣留学、英語研修、中国語研修、ボランティア研修、海外インターンシップ、日本語教員アシスタント、海外チャレンジ研修など様々なプログラムについては <http://www.oiu.ac.jp/kouryu/index.html> をチェック!!